Ⅰ　山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は，教育目標に定める人材を育成するため，高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え，主体的に学習や研究に打ち込むための３つの C（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために，多様な方法で選抜を実施します。

人 文 社 会 科 学 部

人文社会科学部は，人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ，教育力，研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ，卒業後は全国で公務や教育の現場で，あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つの C）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ：　人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
Cooperation：　多様な価値観を尊重し，協調性を持って，倫理的に行動できる人
Contribution：　活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から人文社会科学部では，一般選抜（前期日程・後期日程），総合型選抜Ⅰ，社会人入試，私費外国人留学生入試，学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱを実施します。

人文社会科学科

（人間文化コース）

人間文化コースは，文化人類学，日本学，歴史学・地域アーカイブズ学，文化解釈学，認知情報科学の５つのプログラムから成り，それぞれの学問において，古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目，実地に調査を重ねる課題解決型科目，仮説を実証的に検証する実験科目，人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学等の基礎的スキルを学んだ上で，講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し，その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて，創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・人間とその文化的活動に強い関心を持ち，人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
・異なる意見を理解し，自分の考えを論理的に表現することで，他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
・高等学校卒業水準の基礎的学力を身に付けており，大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身に付けた入学者を選抜するために，大学入学共通テストにおける国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科，情報の教科・科目と国語及び英語の個別テストを課し，基礎的学力と読解力・論理的思考力・記述力を評価します。

総合型選抜Ⅰ

自分の知識や意見を論理的に表現し，他者と協働するコミュニケーション能力を持ち，人文科学の知識を生かして身近な地域の課題解決に取り組む意欲がある入学者を選抜するために，第１次選抜では，調査書，自己ＰＲ書，指定された講座を受講した上での小論文に基づき書類審査を実施し，第２次選抜では，面接（口頭試問を含みます。）及び集団討論を実施し，人文科学に関する基礎的学力，コミュニケーション能力，身近な地域の課題に対する問題意識等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

人文科学と日本の社会・文化に強い関心と勉学意欲を持っている入学者を選抜するために，日本留学試験と面接（口頭試問を含みます。）を課し，基礎的学力及び日本語運用能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

人文科学への勉学に強い意欲を持ち，それに深く関連する科目の基礎的学力を身に付けた入学者を選抜するために，大学入学共通テストにおける国語，外国語，地理歴史，公民の教科・科目と書類審査を課し，人文科学に対する関心・問題意識とそれに関連する基礎的学力等を総合的に評価します。

（グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースでは，外国語教育を基盤としつつ，文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで，地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と，勉学の意欲を持っている人（Challenge）
・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち，相互尊重の精神に基づき，世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
・基礎的な英語力を身に付けており，外国語学習への強い関心を持ち，大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて，社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

高等学校卒業水準の学力を身に付けた入学者を選抜するために，大学入学共通テスト（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科，情報）そして個別テスト（英語）を課します。高等学校で学ぶ教科・科目についての基礎的な知識並びに英語力を評価します。

総合型選抜Ⅰ

グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めます。第１次選抜では，調査書等，志望理由書，自己ＰＲ書に基づき，グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲，さらに本人の目的意識等について多面的に評価します。第２次選抜では，外国語（英検CSEスコア）書類審査及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

学校推薦型選抜Ⅰ

グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的と意欲を持ち，在学中に優れた活動実績がある者を選抜するために，書類審査（推薦書，調査書，志望理由書）及び面接（プレゼンテーションを含みます。）を課し，国際社会・異文化理解・外国語に対する関心，基礎的能力，論理的思考力，表現力を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

外国語を含む基礎的学力を総合的に評価するため，大学入学共通テスト（国語，地理歴史，公民，数学，外国語）を課します。さらに，国際社会・異文化理解に対する関心，海外での勉学に対する強い意欲並びに外国語に対する適性を確認するため，書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により選抜します。

（総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース）

各コースの概要，求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

【総合法律コース】

総合法律コースでは，体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得した上で，学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて，幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは，地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し，実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる，地方創生の担い手として必要な知識・能力を身に付けることができます。

【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは，経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身に付けることができます。専門科目の体系的な履修に加えて，コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて，経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

◆求める学生像

・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち，異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
・高等学校卒業水準の学力を有し，大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため，大学入学共通テスト（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科，情報）を課します。個別テストでは英語・数学のいずれかを課し，基礎的知識，論理的思考力，表現力を評価します。

一般選抜（後期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため，大学入学共通テスト（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科，情報）を課します。個別テスト等では小論文を課し，社会科学の課題に関する基礎的知識，理解力，論理的思考力，表現力を評価します。

社会人入試

調査書・志望理由書等の出願書類及び面接（口頭試問を含みます。）の結果を総合して合否を決定します。面接（口頭試問を含みます。）では，社会的関心と視野の広さ等を評価します。また，社会の発展に貢献する意欲も評価します。

私費外国人留学生入試

日本の社会に強い関心があり，社会科学を学ぶ意欲を持っている人を選抜するため，日本留学試験と面接（口頭試問を含みます。）を課し，基礎的学力，日本語運用能力，社会科学に対する関心や問題意識等を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ

それぞれのコースで学ぶ意欲，在学中の優れた成績・活動実績を有し，社会科学への高い関心を持った人を選抜するため，書類審査（推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文）と面接（口頭試問を含みます。）を課します。協調性を持って倫理的に行動できるか，社会の発展に貢献する意欲があるかについても評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

社会科学への高い関心と勉学意欲に加え，社会科学を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人を選抜するため，大学入学共通テスト（国語，外国語，地理歴史，公民，数学）を課します。あわせて，書類審査と面接（口頭試問を含みます。）によって，勉学意欲や社会科学への関心があるかについても評価します。

教 育 学 部

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする総合大学である山形大学の教育学部として，以下に示す人材の養成を目的とします。

・幅広い視野と探究心，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち，独創性と柔軟性を持って山形県をはじめとする東北地方の各地域や学校における教育活動が直面する諸課題に取り組むことができる人材
・学校・家庭・地域の連携，地域社会のウェルビーイング増進についての基本的知識技能を持って学校教育に貢献できる実践的な人材

教育学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのＣ）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ：広い視野に立って，新しいことに挑戦しようとする意欲のある人

Ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ：課題に積極的に取り組む行動力，他者を受け入れる包容力，社会性とコミュニケーション能力を備えている人

Ｃｏｎｔｒｉｂｕｔｉｏｎ：今日的社会課題とその課題解決に強い関心があり，地域の発展に貢献できる教員になる意欲・情熱を持っている人

◆入学者選抜の基本方針

教育学部は，教育を中心とする地域の諸課題及びウェルビーイング増進に資する諸科学について学び，広い視野と探究心，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持って地域の教育に取り組み，多様な人々が互いに尊重し学び合うことができるコミュニティを創生することに貢献できる教員になる意欲を持った人を受け入れます。

以上のような観点から，教育学部の各コースでは，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

学校教育教員養成課程

（小学校教員養成コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力を身に付けて，多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち，今日的社会の要請に応える高度な専門性を有した上で，地域社会のウェルビーイングを増進させることができる小学校教員を目指す人を受け入れます。また，初等教育に加えて，幼稚園・小学校・中学校の連携・接続についての知識を持つ教員や，障害のある子供への適切な指導を行うことのできる教員になることを希望する人を受け入れます。

◆求める学生像

・小学校教員を目指す人
・複数の教員免許取得を目指す人
・基礎的な学力と探究心を備えている人
・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
・子供を受け止められる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，基礎的な学力を総合的に評価します。個別テスト等では，小論文を課し，基礎的な学力に加えて，本コースでの学修に必要な知識・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接（口頭試問を含みます。）により，教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力，論理的思考力，判断力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等），主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

卒業後に山形県内の小学校教員になることを強く希望する人を対象とした選抜を行います。大学入学共通テスト（６教科７科目）を課し，教科に関わる基礎的学力を評価します。さらに，推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接により，山形県内の小学校教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

（中学校教員養成コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力を身に付けて，多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち，今日的社会の要請に応える高度な専門性を有した上で，地域社会のウェルビーイングを増進させることができる中学校・高等学校教員を目指す人を受け入れます。また，中等教育に加えて，小学校と中学校の連携・接続についての知識を持つ教員や，障害のある子供への適切な指導を行うことができる教員になることを希望する人を受け入れます。

◆求める学生像

・中学校（国語・社会・音楽・美術・保健体育・英語），高等学校（国語・地理歴史・公民・音楽・美術・保健体育・英語）教員を目指す人
・複数の教員免許取得を目指す人
・基礎的な学力と探究心を備えている人
・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
・子供を受け止められる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，基礎的な学力を総合的に評価します。個別テスト等では，小論文を課し，基礎的な学力に加えて，本コースでの学修に必要な知識・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接型「面接（口頭試問を含みます。）」又は実技・面接型「実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）」により評価します。

面接型「面接（口頭試問を含みます。）」では，教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力，論理的思考力，判断力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等），主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

実技・面接型「実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）」では，教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力，論理的思考力，判断力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等），主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。以上に加えて，音楽，美術又は保健体育の教員を目指す人を対象に，実技検査（音楽・美術・保健体育から１つを選択します。）により，基礎的な実技能力を評価します。

（理数系教員養成コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力を身に付けて，多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち，理数系に関する幅広い知識あるいは深い専門性を有した上で，地域社会のウェルビーイングを増進させることができる小学校教員あるいは中学校・高等学校教員を目指す人を受け入れます。また，小学校と中学校の連携・接続についての知識を持つ教員になることを希望する人を受け入れます。

◆求める学生像

・理数系に関する幅広い知識あるいは深い専門性を持つ小学校，中学校（数学・理科），高等学校（数学・理科・情報）教員を目指す人
・複数の教員免許取得を目指す人
・基礎的な学力と探究心を備えている人
・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
・子供を受け止められる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，基礎的な学力を総合的に評価します。個別テスト等では，小論文を課し，基礎的な学力に加えて，本コースでの学修に必要な知識・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接（口頭試問を含みます。）により，教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力，論理的思考力，判断力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等），主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

卒業後に山形県内の小学校教員になることを強く希望する人を対象とした選抜を行います。大学入学共通テスト（６教科７科目）を課し，教科に関わる基礎的学力を評価します。さらに，推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接により，山形県内の小学校教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

（心理支援系教員養成コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力を身に付けて，多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち，心理に関する高度な専門性を有した上で，地域社会のウェルビーイングを増進させることができる小学校教員を目指す人を受け入れます。また，初等教育に加えて，幼稚園・小学校の連携・接続についての知識を持つ教員になることを希望する人を受け入れます。

◆求める学生像

・小学校教員を目指す人
・心理的な側面から児童・保護者の支援を行える教員を目指す人
・基礎的な学力と探究心を備えている人
・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
・子供を受け止められる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，基礎的な学力を総合的に評価します。個別テスト等では，小論文を課し，基礎的な学力に加えて，本コースでの学修に必要な知識・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書，調査書，志望理由書の書類の他，面接（口頭試問を含みます。）により，教員になることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力，論理的思考力，判断力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等），主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。

理 学 部

理学部は，自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち，社会の要請に対し，独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ，理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て，分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後，独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つの C）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の３要素（３つの C）を備えていること。

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ： 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人

Cooperation： 高い倫理観と協調性を持ち，身に付けた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人

Contribution： 人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて，総合型選抜Ⅰ，私費外国人留学生入試及び学校推薦型選抜Ⅰにより選抜を実施します。

理学科

独創性と柔軟性を持ち，様々な分野で貢献できる人材として育成するために，１年次には理学の基礎科目を広く学び，理学諸分野の専門的知識の基礎を築きます。その上で，２年次以降に専門分野が体系的に学べる６つのコースカリキュラム（データサイエンス，数学，物理学，化学，生物学，地球科学）から１つを選択します。また，目指す将来像に応じて各種プログラムを選択し，必要なスキルを伸ばすことができます。

こうしたカリキュラムの中で，社会生活における広い視野・コミュニケーション能力・健全な批判精神を醸成し，理学分野の基礎的教育を行います。また専門分野の修得のみならず，専門分野以外の学問領域を含む学際的知識・研究スキル，さらには国際交流や地域社会との連携に関する教育を行い，様々な分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

理学科で学ぶ上で必要となる基礎的学力を総合的に評価するため，大学入学共通テストを課します。
更に，数学，物理，化学，生物，総合問題（地球科学）の中から１科目を選んだ個別テストを課し，考察力，推理力，論理的思考力，記述力を総合的に評価して合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

個別テスト等を課さず，外国語及び理数科目に重点を置く大学入学共通テストの得点により合否を判定します。

総合型選抜Ⅰ

理学科で学ぶことに強い意欲を持つ者に対して選抜を行います。
第１次選抜では，これまでの学修状況及び自分の考えを適切に表現できるか，を評価するため，調査書，エントリーシート及び探究活動レポートを総合して合否を判定します。
第２次選抜では，基礎学力，自主的な学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神を評価するため，選抜区分ごとに定めた科目等（数学・データサイエンス：面接（口頭試問を含みます。），物理学：面接（口頭試問を含みます。），化学：プレゼンテーション（受験者相互による質疑応答を含みます。），レポート，生物学：小論文，面接（プレゼンテーション及び口頭試問を含みます。），地球科学：作業課題，面接（プレゼンテーション及び口頭試問を含みます。））により，合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績及び出願書類の内容を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，基礎学力，思考力，表現力を評価する他，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神についての面接（口頭試問を含みます。）を行い，面接（口頭試問を含みます。）の得点と書類審査（調査書・推薦書・志望理由書）に基づく得点の合計により合否を判定します。

医 学 部

医学部には，医学科と看護学科の２学科があります。
医学科は，新設医学部・医科大学の一期校として昭和 48 年に地域医療の中核として設立され，以来，「広い視野を持ち，自ら学び，考え，創造し，それらを生涯にわたって発展させることのできる医師及び医学研究者を養成する」という建学の精神に基づき，すでに5,116人の卒業生を世に送り出しています。
看護学科は，平成５年に東北・北海道地区ではじめての国立４年制大学として設立されました。時代の要請に柔軟に対応できる知識・技術と豊かな人間性を備えた看護職者を養成し，すでに1,938人の卒業生を医療人及び専門的研究者として世に送り出しています。
医学部の学生は卒業後，地域医療の第一線をはじめとして，日本各地の様々な医療機関で，また国際的にも世界各地の研究機関で広く活躍しています。今後さらに地域に根ざし世界で活躍する医療人を育成するため，医学部は以下の「求める学生像」に記された資質を持っている人を受け入れます。

◆求める学生像（３つの C）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ： 科学的研究心が強く，現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え，粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人

Ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ： 医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え，医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人

Ｃｏｎｔｒｉｂｕｔｉｏｎ： 世界水準の医学看護学を背景に，高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，医学科では一般選抜（前期日程）と学校推薦型選抜Ⅱを，看護学科では一般選抜（前期日程），総合型選抜Ⅲ及び学校推薦型選抜Ⅱを実施します。入学試験では，以下に示す医学科及び看護学科のそれぞれのアドミッション・ポリシーに従って，多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

医学科

「人間性豊かな，考える医師の養成」を建学の精神として，綿密なカリキュラムに基づく厳格な医学教育が行われています。

ヒトゲノム解析等，めざましい先端的な医学研究の進歩を柔軟に医学教育に反映させたカリキュラムの編成により，最新の医学知識を学ぶことができます。達成可能な現実的な目標を設定し，問題解決型の医師の養成を目指した臨床医学教育を実施するためのカリキュラムがきめ細かく編成されています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で臨床医として医療活動に従事していますが，医学研究者として大学・研究所等で活躍している人も数多くいます。

医学教育に加えて，附属病院や地域の病院における診療を通した地域医療への貢献とともに，様々な国際的な医学研究への参画と民間との共同研究も行われています。

このように医学科では，最先端の医療・医学研究の実践を背景に地域に根ざして世界にはばたく医師・医学者の育成を行っています。このような医学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち，科学的研究心が強く，旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
・心身ともに健康で，柔軟性に富み，倫理性の高い人
・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
・地域医療を含め，幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科８科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別テストでは，英語，数学，理科（物理・化学・生物から２科目を選択）を課し，本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では医療人としての適性を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

日本留学試験では，日本語力及び基礎学力を評価します。独自試験等は，小論文と面接を課し，本学科の修学に必要な日本語力を検査するとともに，医療人としての適性を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは，６教科８科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別テスト等の面接では医療人としての適性を総合的に評価します。

看護学科

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる倫理観を基盤とし，誠実で豊かな人間性を備えた看護師・保健師を育成する看護学教育を行っています。（※令和７年度より助産師養成課程の学生募集を停止。大学院教育へ移行予定。）

保健・医療・福祉に関わる人々と協働して，根拠に基づく安全な看護を提供できる人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。

社会と人々の生活の変化を敏感に捉え，看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成することを教育理念としています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で看護職として活躍しています。また，教育研究者として大学で活躍している人や海外で活動する人も増加しています。

このように看護学科では，社会からの多様なニーズに応え，人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護職・看護教育研究者の育成を行っています。このような看護学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・人々の健康と福祉に強い関心を持ち，科学的に追及する姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
・心身ともに健康で，誠実で高い倫理性を持つ人
・他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
・看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別テストでは，英語を課し，本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では看護職としての適性を総合的に評価します。

総合型選抜Ⅲ

地域医療に貢献したいという強い意志，修学・活動意欲を高く持つ者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

個別テスト等は集団討論と面接を課し，看護学に関する関心や課題意識，思考力や対応力，看護が地域に果たす役割を遂行するための適性等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

日本留学試験では，日本語力及び基礎学力を評価します。独自試験等は，小論文と面接を課し，本学科の修学に必要な日本語力を検査するとともに，医療人としての適性を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは，６教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別テスト等の面接では看護職としての適性を総合的に評価します。

工 学 部

山形大学工学部は，人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし，現在でも高分子（プラスチックス）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは，昼間コースに高分子・有機材料工学科，化学・バイオ工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科，建築・デザイン学科，フレックスコースにシステム創成工学科の合わせて６学科及び数物学分野の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して，21世紀の社会と産業の変革に呼応し，「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ，研究活動を活発化して，科学技術の高度化，産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では，これらの目標達成のため，上記５学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと，今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として，夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で，米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等，大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つの C）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ： 自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲にあふれ，身のまわりのいろいろなことに好奇心を持って新しいものを創ること，工夫することに情熱を持って取り組める人

Cooperation： 他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち，社会の中での協調性を保ちながら，自ら考えて決断し行動できる人

Contribution： 広く社会に目を向け，工学を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

工学部は，このような入学者を幅広く受け入れるため，一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて，総合型選抜Ⅰ（フレックスコース），総合型選抜Ⅱ（昼間コース），私費外国人留学生入試及び学校推薦型選抜Ⅰ等により選抜を実施します。

以上のような観点から，各学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

〔昼間コース〕

高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は，金属，セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており，電子・情報産業から，エネルギー，環境，自動車，航空，宇宙産業，さらには医療・福祉産業に至るまで，我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では，健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて，高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し，技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し，それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者，技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・高分子・有機材料，自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲と吸収力にあふれ，何事に対しても好奇心と情熱を持ってチャレンジできる人
・コミュニケーション能力を有し，他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち，社会の中で協調性を保ちながら，自ら考え決断・行動し，成長し続けられる人
・広く社会に目を向け，高分子・有機材料工学の技術を通して，強く社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般選抜（前期日程）

個別テストとして，理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点により合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（物理（物理基礎，物理）又は化学（化学基礎，化学）から１科目を選択），志望動機，学習意欲，表現力を評価し，調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は，環境，エネルギー，食糧，医療に代表される 21 世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために，その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い，様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・勉学や科学技術に対する意欲にあふれ，何事にも積極的に取り組める人
・社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
・応用化学，化学工学，バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学，生物等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般選抜（前期日程）

前期日程試験では，個別テストとして，理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点により合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A），物理（物理基礎・物理），化学（化学基礎・化学），生物（生物基礎・生物）から１科目を選択，及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ））），志望動機，学習意欲，表現力を評価し，調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は，“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワーク等のソフトウェア分野と，エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として，希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに，実践的な実習・演習を通じて，社会のニーズに応えられる専門知識を習得し，新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・情報科学や電気・電子通信工学を通して，次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し，学習意欲と協調性がある人
・テクノロジーの基礎となる数学，物理，英語を積極的に学習できる人
・新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般選抜（前期日程）

前期日程試験では，個別テストとして，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点により合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C），及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ））），志望動機，学習意欲，表現力を評価し，調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

機械システム工学科

機械システム工学科は，機械工学の知識を基礎として，技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し，独創性と創造性に富んだ技術開発を通して，地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車，航空機，船舶，精密機器，ロボット，エネルギー変換等の従来からの機械工学の基幹分野はもとより，生体工学，医用工学，知能工学等を含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・新しいことに挑戦し，地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
・技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し，何をなすべきかを真剣に考える人
・ものづくりが好きで機械に興味があり，機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために，高等学校等の教育課程においては数学，物理，化学，外国語（英語）等の基礎学力を十分に身に付けていることを求めます。また，幅広い視野を涵養するため，国語，地理歴史・公民，情報等の教科・科目の習得も同時に重要です。

一般選抜（前期日程）

前期日程試験では，個別テストとして，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点により合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ），物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ））），志望動機，学習意欲，表現力を評価し，調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は，建築・デザインに関する分野における活動を通して，世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し，積極的に地域と関わり，地域社会の課題解決，地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計，都市計画，建築史，構造工学，建築環境，工業デザイン等，建築・デザインに関わる学問分野を中心に，他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。

建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
・積極的に地域と関わり，地域社会の発展に貢献できる人
・世界を見据えつつ，地域で実践する意欲のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学，地学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般選抜（前期日程）

前期日程試験では，建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い，基礎学力，志望動機，学習意欲，表現力，論理的思考力，観察力を評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科７科目）の成績との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科７科目）の得点により合否を判定します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力，志望動機，学習意欲，表現力，論理的思考力，観察力を評価し，調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

総合型選抜Ⅱ（全学科共通）

工学部昼間コースにおいて，総合型選抜Ⅱを実施します。

なお，この総合型選抜Ⅱの募集人員には，山形県内高校等の受験者を対象とした募集人員を含みます。

◆求める学生像

・高度な知識と技術を習得し，山形県内又はそれぞれの生まれ育った地域や地方において，産業の発展に貢献することを強く望む人

◆入学者選抜方法

第１次選抜では，レポートにより，知識よりも自分独自の意見を持ち，その意見を自分の言葉で表現できているかを評価し，調査書，志望理由書及び自己 PR 書と併せて総合して合否を判定します。

第２次選抜では，面接（口頭試問を含みます。）を行い，受験者の意欲，積極性，基礎学力を基準に評価し，合否を判定します。

〔フレックスコース〕

システム創成工学科

システム創成工学科は，１年次から４年次まで米沢キャンパスで講義，実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は，工学の基礎（数学，物理，化学，情報・知能科学の基礎）を学んだ上で，１年次後期に決定し，２年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また，システム創成工学科では，一人一人の学生が，基礎学力や専門知識をうまく活用し，社会人として活躍していく上で必要となる基礎的能力を養成するために，地元自治体や他大学と連携し，大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに，このフレックスコースには下記のような特長があります。

（１）入学料・授業料が昼間コースの半額

（２）数学・物理等の基礎科目については少人数制教育を実施

（３）１年次から審査を経て研究室レベルの実践教育を実施

（４）社会人の生涯学習の場としての機能も備え，夜間開講科目のみの履修でも４年間で卒業可能

システム創成工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・最先端のものづくり産業で活躍することで，地域社会や国際社会に貢献したい人
・工学への強い興味を持ち，自己研鑽に励むことで，自らを高めようという意欲のある人
・柔軟な広い視野を備え，新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
・将来，ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
・数学・物理・語学等の基礎学力をバランス良く持っている人
・学業以外の部活動やボランティア活動等に積極的に参加している人
・バイタリティにあふれ，科学技術の分野で夢や希望を持っている人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

現在，大学理工系学部における入学者は女子が少ない状況にあります。このような状況に対して，本学科は，女性の研究者やエンジニアを育成し，社会に多様性をもたらすことで，従来にはない目線で社会課題解決，価値創造に貢献するために総合型選抜Ⅰにおいて，一般枠に加え，女子枠の入試を実施します。

同選抜では多様な観点から社会システムや専攻分野の知識や技能を理解することで創造性を高め，社会的な課題を多面的に解決できる人材を育成するための入試を実施します。

一般選抜（前期日程）

前期日程試験では，個別テストとして，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点との合計により合否を判定します。

一般選抜（後期日程）

総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テスト（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目）の得点により合否を判定します。

総合型選抜Ⅰ

第１次選抜は書類選抜を実施し，第２次選抜では面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第１次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を，調査書，志望理由書及び自己ＰＲ書により評価し，これらを総合して合否を判定します。

第２次選抜では，入学志願者本人に20分程度面接（口頭試問を含みます。）することにより，数学及び理科（「物理または化学から１科目選択」）（出題範囲：数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ），物理（物理基礎・物理），化学（化学基礎・化学））に関する基礎学力，志望動機，学習意欲，表現力等を総合して評価し，合否を判定します。

社会人入試

面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び物理（物理基礎・物理）），志望動機，学習意欲，表現力を評価し，その成績により合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び物理（物理基礎・物理）），志望動機，学習意欲，表現力等を総合して評価し，その成績により合否を判定します。

農 学 部

農学部は，日本有数の穀倉地帯であるとともに，豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており，農学，生命科学，フィールドサイエンスを学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センター（ＦＳＣ）からなり，全学組織の山形大学アグリフードシステム先端研究センター（ＹＡＡＳ）及び山形大学農山村リジェネレーション共創研究センターにおいても中心的役割を担っています。これらの組織をとおして，21世紀における国内外の諸問題の解決，資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて，活発な教育・研究を進めています。また，大学院修士課程や博士課程に進学して，学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのC）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ： 知的好奇心が旺盛で，自ら課題を発見し，その解決に向かって行動できる人

Ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ： 自然と人間を愛し，人との出会いを通じて学びあいたい人

Ｃｏｎｔｒｉｂｕｔｉｏｎ： 人類社会の直面する食料問題や資源問題，環境問題等に関心を持ち，地域社会及び世界に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

農学部は，１学科３コース制を導入しており，入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は，一般選抜（前期日程・後期日程），総合型選抜Ⅰ，私費外国人留学生入試及び学校推薦型選抜Ⅰがあります。

食料生命環境学科

食料生命環境学科は，１年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して，２年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い，３コースのいずれかに配属となります。２年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。さらに，３年次からは，専門分野のより高度な知識の習得を目指す基幹プログラム，地域のリーダーを目指す地域創生プログラム及び国際的感覚を身に付けることを目指す国際展開プログラムの３つから選択し，将来を見据えた履修プログラムで教育・研究を行います。各コースの概要は，次のとおりです。

【アグリサイエンスコース】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び，さらに，限られた資源（物的資源，人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

【バイオサイエンスコース】

生命科学，食品科学等に関わる現場で活躍できる人材を育成します。

植物や，微生物，高等動物等多様な生物を対象とし，これらが持つ生理機能の解明，有用機能の探索・改良等，広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

【エコサイエンスコース】

森・水・土を知り，地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム，機能を理解し，それらが産み出す恵みを享受しながら，将来に渡り持続可能な形で管理，保全するための理論や技術を学びます。

◆求める学生像

・自然に学び，自然について深く考えることのできる人
・人類社会の直面する食料問題や資源問題，環境問題等の解決，生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち，行動できる人
・論理的に思考し，表現できる人
・基礎的な学力を幅広く身に付けている人
・数学，理科等の自然科学に関しては，基礎的な知識を修得するだけでなく，それを応用できる人

以上のような観点から，食料生命環境学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程・後期日程）

基礎的な学力を幅広く身に付けることを重視していますが，特に自然科学（数学や理科）に関しては，それを応用できるかについても評価します。

前期日程試験では，自然科学の応用力を重視し，大学入学共通テストに加え，個別テスト（数学・理科（化学)・理科（生物）のいずれか１教科）を課します。

後期日程試験では，総合的な基礎学力を重視し，大学入学共通テストのみを課します。

総合型選抜Ⅰ

第１次選抜は書類選抜を実施し，第２次選抜では面接（プレゼンテーション，口頭試問を含みます。）を実施します。

第１次選抜では，調査書，志望理由書，プレゼンテーション概要により，これまでの活動内容や農学部で学ぶための目的意識と修学意欲を評価し，これらを総合して合否を判定します。

第２次選抜では，面接（プレゼンテーション，口頭試問を含みます。）により，テーマに関する知識，表現力及び「広義の農学」への熱意，基礎的な学力（高等学校卒業程度)，積極性，アドミッション・ポリシーの理解度等を評価します。

私費外国人留学生入試

独自試験等を課さず，当該年度の日本留学試験の成績及び出願書類の審査結果を総合的に評価し，合否を判定します。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，面接（口頭試問を含みます。）により，論理的思考力，表現力，社会の課題と農学の果たす役割への関心と理解及び主体性について評価します。また，調査書，推薦書及び志望理由書により，大学における高等教育を受けるに足る基礎的な学力，思考力・判断力・表現力及び修学意欲についても評価します。

社 会 共 創 デ ジ タ ル 学 環

社会共創デジタル学環では，地域社会の抱える諸課題を多様な人々と協働して解決にあたることのできる人材を育成するため，高等学校等で培われた基礎学力を備え，主体的に学習や研究に打ち込むための３つの C（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。

社会共創デジタル学環の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つの C）

Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ： 多様な人々と協働して地域課題の解決に挑戦しようとする意志を持つ人

Cooperation： 多様な人々と協働できる倫理観・社会性・コミュニケーション能力を持つ人

Contribution： 地域社会が抱える諸課題の解決や新たな価値の創造を通して，人類の持続可能な幸福社会の実現に貢献しようとする意欲を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，社会共創デジタル学環では一般選抜と学校推薦型選抜Ⅰを実施します。入学試験では，アドミッション・ポリシーに従って，多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

◆入学者選抜方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，５教科５科目の試験を課し，基礎的な学力を評価します。個別テスト等では面接を行い，アドミッション・ポリシーに掲げる「求める学生像」の能力・資質を評価します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは，５教科５科目の試験を課し，基礎的な学力を評価します。個別テスト等は課しません。

学校推薦型選抜Ⅰ

面接，集団討論，書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により，アドミッション・ポリシーに掲げる「求める学生像」の能力・資質を総合的に評価します。